Sustainability Report 2023

「変貌する未来への挑戦 Challenge 2030」

Contents

三愛オブリを知る

- 02 会長メッセージ
- 03 三愛オブリグループのこれまで
- 05 三愛オブリグループの今
- 07 三愛オブリグループの価値創造プロセス
- 09 コミットメント

ハイライト2022

- 11 vol.01 「サステナビリティ経営」の浸透に向けて サステナビリティ フォーラムを開催
- 13 vol.02 グループシナジー創出に向けて 事業間連携を強化する 「テクニカルミーティング」 を開催

三愛オブリグループのマテリアリティ

- 15 サステナビリティマネジメント
- 17 気候変動への対応
- 21 エネルギーの安定供給
- 23 ダイバーシティ&インクルージョンほか
- 27 コーポレート・ガバナンス
- 30 活動ハイライト

データセクション

31 データハイライト 三愛オブリグループの概要

本報告書は、三愛オブリグループの2022年度のサステナビ リティに関連する取り組みをステークホルダーのみなさま に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

報告対象範囲

三愛オブリ(株)の活動を中心に、三愛オブリグループ全 体の活動について取り上げています。

報告対象期間

2022年度(2022.4.1~2023.3.31)を基本としていますが、 一部2023年度の発行時点までの事象も含んでいます。

発行時期 2023年10月

(次回発行予定 2024年10月)

本報告書には、将来予測も記載しています。これらは記述 した時点で入手できた情報に基づいたものであり、実際の 活動結果が予測と異なる可能性があります。

参考にしたガイドライン等

- ・環境省「環境報告ガイドライン」2018年版
- ·「ISO26000:2010社会的責任に関する手引き」
- ・「持続可能な開発目標(SDGs)」



Cover Story

中期経営計画「変貌する未来への挑戦 Challenge2030」 と将来世代への思いを同時に表現した表紙は、ステー クホルダーへ価値を提供し続けていく当社の意思表 明でもあります。

会 長 X ツ セ



三愛精神「人を愛し国を愛し勤めを愛す」のもと 社会へ真の価値を提供する

代表取締役会長 金田 凖

2023年、新型コロナウイルス感染症の影響は緩 やかになってきたものの、世界に目を向ければウク ライナ侵攻や米中対立など分断が続いています。

また、地球温暖化や経済格差など社会課題が山 **積していますが、それらを解決していくのは「人の** 力」に他なりません。

人的資本の開示に見るように「人材」は企業価値 向上、将来の競争力の源泉です。その「人材」が持 つ知識や技術を常に見直し、事業戦略に必要な人 材育成が適切な時期に質、量ともに十分実施され るよう資金を投入していきます。その他、働きやす

い職場環境の整備、健康経営に引き続き取り組む ことで生産性を向上させ、それらを事業の長期的な 成長につなげていきます。多様な人材が持つ能力 を最大限活かすことで、既存事業はより強く、新た なビジネスチャンスには果敢に挑戦していく組織風 土を醸成していきます。

経営理念である三愛精神のもと、人と産業を支え るパートナーとして新しい価値創出を続けてまいり ますので、ステークホルダーのみなさまの変わらぬ ご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

三愛精神

三愛オブリグループは、経営理念である三愛精神「人を愛し国を愛し勤めを愛す」を軸に倫理行 動憲章を制定し、グループ全体でより良い社会の発展に貢献することを目指しています。

- ふれあうすべての人々の人格を尊重し、分け隔てのない人間関係を築きます。
- 企業活動を通して、より良い社会の発展に貢献します。
- •仕事に誇りを持ち、自律的、創造的に行動します。



創業者 故 市村清の経営理念

三愛オブリグループのこれまで

- 連結売上高(百万円)
- 単体売上高(百万円)
- → 連結当期純利益(百万円)

連結売上高/単体売上高

1,000,000

800,000



キグナス石油(株)のグループ入りにより、 仕入れの安定化と販売ネットワークの 拡大を図る

2004

國際油化(株)(現:三愛リテールサービス(株))が グループ入り 系列SSの増加により販売網を強化

高知県および高知県本山町と

協定森林「三愛石油オブリの森 |を

2008

スタート

2008

2005

ガス導管事業者に

都市ガスの小売自由化により

4.032

600,000

2002

創立50周年を機に コーポレートブランド 「Obbli」を導入

400,000

200,000

中期

経営計画

2000 2001 2003 2005 競争力を高め 新·創業計画 ROAナンバー・ワンを

●市況の低迷と有価証券

評価損により収益悪化

New Foundation 150

●連結売上高が伸長

Challenge 2011 グループ総力 による躍進

6,462

●有価証券評価損を 特別損失に計上

2015

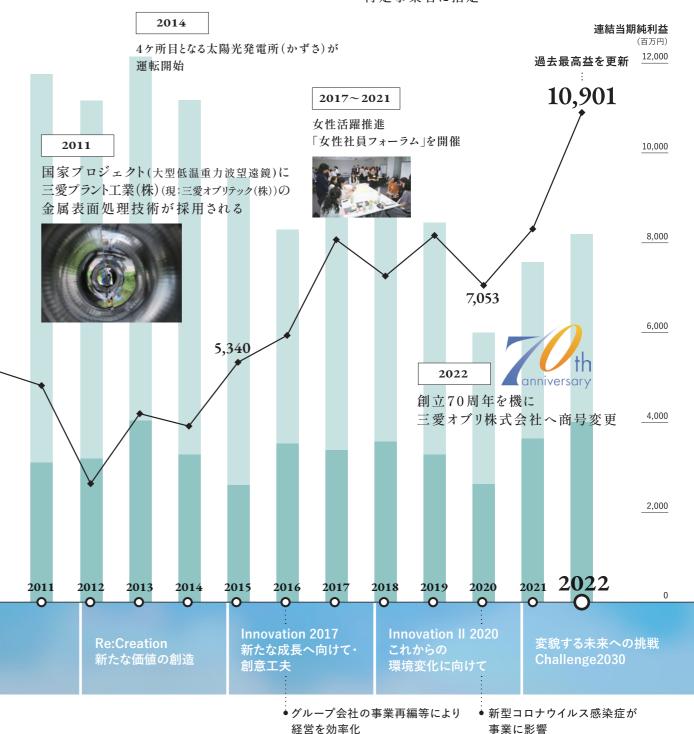
コーティングの自社ブランド 「ARAWZANS®」販売開始

ARAWZANS®



2020

羽田空港貯油タンクを2基増設し 「石油コンビナート等災害防止法」の 特定事業者に指定



経営を効率化

03 三愛オブリグループ サステナビリティレポート 2023

獲得しよう!

54% 12% 2022年度 セグメント利益

21%

7%

石油関連事業

石油製品販売業

特約店への卸売や需要家向けなどの産業用燃料および潤滑油 の販売、サービスステーションでの小売販売を通して全国に石油 製品を供給しています。

主要な油槽所 サービスステーション(系列)

全国約 1,020 ヶ所





ガス関連事業

LPガス販売業

家庭用から業務用までのLPガスの販売、また、産業用の一般高 圧ガス、エアゾール用脱臭ガス、特殊ガス、オートガスの販売を 行っています。

LPガスの充てん所 (エアゾール用含む)

10ヶ所

全国 319店



天然ガス販売業

全国の工場などに省エネ・省コスト構築のための総合エネルギー 供給システムを提案し、天然ガスを販売しています。また、佐賀ガ ス(株)では一般家庭向けの都市ガス供給も行っています。

·佐賀ガス(株):346.6km

 $392.7_{\rm km} 26_{\rm f}$ ・三愛オブリ(株):46.1km

三愛オブリ(株)の 2022年度CO2削減量 大口ガス供給件数 (天然ガスへの燃料転換による)

約26,623t





化学品関連事業

化学品製造販売業

工業用防腐・防カビ剤や自動車用ケミカル商品などの開発・製 造・販売と、商社としてお客さまのニーズに沿った化学品の販売 を行っています。



メーカー機能





航空関連事業

航空燃料取扱業

羽田空港でのハイドラントシステム(地下パイプラインによる給油 システム)による航空燃料取扱業務のほか、各地の空港で給油 業務や給油施設の管理等を行っています。

三愛オブリグループが 航空燃料取扱業務を担う拠点

全国 27ヶ所

羽田空港における三愛オブリ(株) による航空機への給油便

約350厘/日





その他事業

建設工事業、クリーンテック事業のほか、遊休地などを活用し太 陽光発電所を運営しています。

三愛オブリ(株)の太陽光発電所 4ヶ所

クリーンテック事業の金属表面処理技術 特許 🎖 件

Business of SAN-AI OBBLI

三愛オブリグループの今

航空機給油施設(ハイドラン トシステム)の設計・運用のノ 術には定評があります。

都市ガス事業における天然ガス パイプラインの導管管理をはじ め、高圧ガス施設や油槽所など 危険物施設の安全操業に実績 があります。小売部門は高い保 安基準のもと、お客さまへ信頼 とサービスをお届けしています。 力強化をサポートしています。

提案力

資本の影響を受けない独立系の 商社として、お客さまに最適な商 品・サービスをワンストップで提 供しています。またグループ会社 に小売部門を有することで販売 ノウハウを特約店と共有し販売 スを提供しています。

顧客基盤

石油、LPガス事業において特 約店と長期的なパートナー シップを構築するとともに、化 学品、潤滑油、天然ガス事業 では大口需要家へ当社サービ

Value Creation

of SAN-AI OBBLI

三愛オブリグループの価値創造プロセス

OUTCOME

OUTPUT

総合的なエネルギーサービスで

M&Aによる事業領域の拡張により

多様な顧客ニーズに対応

幅広い顧客課題を解決

新規事業開発や



産業を支えるパートナー

安定的なエネルギー供給





安心・安全な暮らしの実現



地域社会との共生



事業活動

マテリアリティ

社会課題 ①1 気候変動への対応

• 少子高齢化

• 労働力不足

● 地域の過疎化

● 自然災害の増加

● 気候変動

● エネルギー 価格の高騰

カーボンニュートラルな 社会の実現に向けた 取り組み

02 エネルギーの安定供給



人々の生活と 産業を支える パートナーを目指す → P21

03 ダイバーシティ&インクルージョンほか



人材の確保と育成 → P23

04 ==ポレート・ガバナンス



経営の効率化と 透明性を確保し ステークホルダーの 信頼を得る → P27

石油製品販売

事業戦略

- 1. 石油関連事業の 効率化と他事業への 経営資源の拠出
- 2. 成長可能性のある 事業へのM&Aを 含めた投資
- 3. 事業間連携による さらなるシナジーの 創出

事業を支える組織の強化

航空燃料

取扱

- 4. グループ マネジメント体制の 進化
- 5. 変革を生む 挑戦的な 組織風土の醸成

化学品 製造販売

LPガス 販売

天然ガス 販売

その他

新エネルギー

価値創造の源泉・強み

技術力

信頼性

提案力

顧客基盤

三愛精神 「人を愛し国を愛し勤めを愛す」